



参天製薬株式会社  
Santen Pharmaceutical Co., Ltd.

# Data Book 2008

---

**2007年度通期**

【お問い合わせ先】

**参天製薬株式会社**

コーポレート・コミュニケーショングループ IR担当

TEL. 06(6321)7007 FAX. 06(6321)8400

e-mail [ir@santen.co.jp](mailto:ir@santen.co.jp)

証券コード:4536

## 2006-2010 年度中期経営計画

### 世界の参天に向けた新薬候補の準備と、強みが発揮できる地域での成長

参天製薬は、10 年後の「世界の参天」への飛躍に向けた第一ステップとして、以下の中期経営計画(2006-2010 年度)を実施してまいります。

#### [長期構想]

- 世界の参天
- 目に関する分野、抗リウマチ分野のリーダー
- “眼科”および“自社の強みが発揮できる特定分野”に特化した“研究開発型製薬企業”

#### [2006-2010 年度中期経営計画の概要]

##### 基本方針

「世界の参天に向けた新薬候補の準備と、強みが発揮できる地域での成長」

1. グローバル戦略新薬候補を充実させる
2. 日本をはじめ、北欧・東欧・ロシア、中国での成長、米国は臨床開発と事業開発に注力する
3. 生産基盤を強化させる
4. グローバルレベルで人材・組織を強化する

##### 数値目標

	2010 年度
売上高	1,150 億円以上
営業利益	320 億円以上
当期純利益	220 億円以上
自己資本当期 純利益率(ROE)	13%以上
研究開発費	160 億円を目処

本資料に記載の予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、行政動向など様々な重要な要素により、これら業績予想等とは大きく結果が異なる可能性があります。

# 目次

<b>財務ハイライト</b>		<b>2</b>
	■連結業績の推移	2
	■連結貸借対照表推移	2
	■主な連結財務指標の推移	2
	■その他連結情報	2
<b>連結情報</b>		<b>4</b>
	連結損益計算書	4
	損益計算書明細	5
	■売上高増減ポイント	5
	■主な販売費及び一般管理費の内訳	5
	■主な営業外損益の内訳	5
	■主な特別損益の内訳	5
	売上明細	6
	■医療用医薬品主要品目別売上高	6
	■販売部門別売上高合計	8
	地域別明細	9
	■所在地別 明細	9
	■海外売上高	9
	連結貸借対照表	10
	■資産の部	10
	■負債および純資産の部	11
	連結キャッシュ・フロー計算書	12
	設備投資・人員	13
	■設備投資額	13
	■減価償却費	13
	■リース料	13
	■期末人員数	13
	連結会社一覧	14
	■グループ会社関係図	14
	■連結会社一覧	14
<b>参考情報</b>		<b>16</b>
	研究開発の状況	16
	■医薬品開発状況一覧表(臨床段階)	16
	■医薬品開発状況一覧表(臨床準備中 一部抜粋)	17
	■他社への開発導出品 状況一覧	17
	■2007年度中間期(2007年11月2日)からの変更点	17
	国内医薬品市場の状況	18
	■薬価改定率	18
	■主な医療保険制度改正	18
	■マーケットシェア	19
	■医療用眼科薬～薬効別マーケットシェア	19
	株式情報	20
	■株価情報	20
	■大株主の状況(上位10名)	20
	■ストックオプションの状況	20
	■自己株式消却の状況	20
	■所有株式数別分布状況	21
	■所有者別株主分布状況	21
	ニュースリリース	22

# 財務ハイライト

## ■連結業績の推移

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率(%)	2009.3 (予想)	対前期増減率(%)
売上高(百万円)	89,857	92,696	98,397	100,485	103,394	2.9	104,000	0.6
営業利益(百万円)	14,525	18,982	20,995	20,412	20,370	-0.2	20,500	0.6
経常利益(百万円)	15,790	18,837	21,507	20,843	20,702	-0.7	21,000	1.4
当期純利益(百万円)	6,321	11,022	13,022	13,147	12,650	-3.8	13,000	2.8
配当金(円/株)	40	50	60	65	80	—	80	—
自己資本配当率 DOE(%)	3.4	4.0	4.4	4.4	5.4	—	—	—

## ■連結貸借対照表推移

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率(%)
総資産(百万円)	150,237	139,979	150,458	159,098	156,547	-1.6
純資産(百万円)	103,499	108,239	118,637	128,645	127,118	-1.2
有利子負債(百万円)	12,686	6,882	5,614	5,446	5,278	-3.1

## ■主な連結財務指標の推移

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率(%)	2009.3 (予想)	対前期増減率(%)
1株当たり当期純利益 EPS(円)	71.65	125.85	150.26	151.58	146.15	-3.6	152.98	4.7
1株当たり純資産 BPS(円)	1,176.83	1,249.32	1,368.27	1,481.83	1,494.48	0.9	—	—
デッドエクイティレシオ(倍)	0.12	0.06	0.05	0.04	0.04	—	—	—
株価収益率 PER(倍)	24.3	18.3	18.8	20.0	15.9	—	—	—
株価純資産倍率 PBR(倍)	1.50	1.84	2.07	2.04	1.56	—	—	—
自己資本当期純利益率 ROE(%)	6.3	10.4	11.5	10.6	9.9	—	—	—
総資本当期純利益率 ROA(%)	4.3	7.6	9.0	8.5	8.0	—	—	—
※フリーキャッシュフロー(百万円)	19,971	1,713	18,772	11,404	12,316	8.0	—	—
※EBITDA(百万円)	18,660	23,367	25,258	25,890	25,172	-2.8	—	—

※フリーキャッシュフロー＝〔営業活動によるキャッシュフロー〕－〔設備投資額〕

期末日が金融機関の休日に当たる場合の調整はしていません。

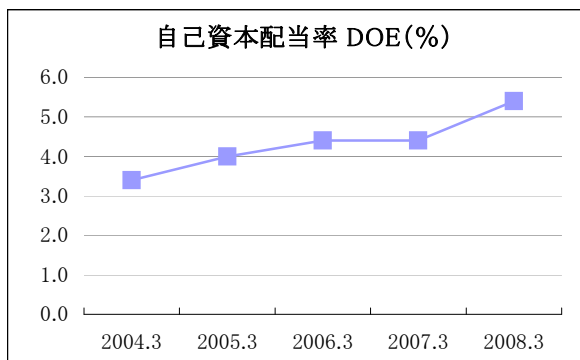
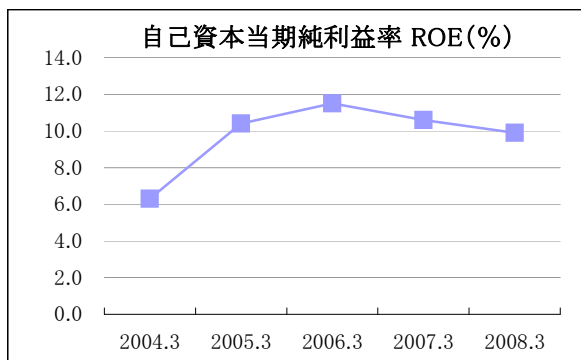
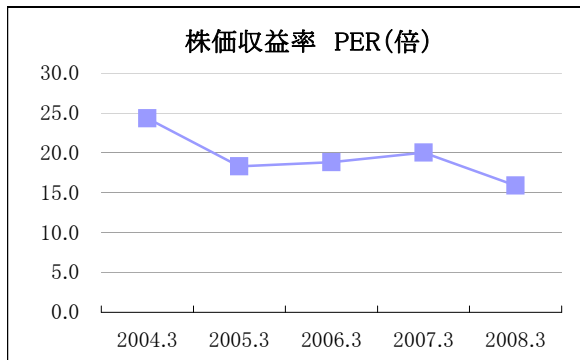
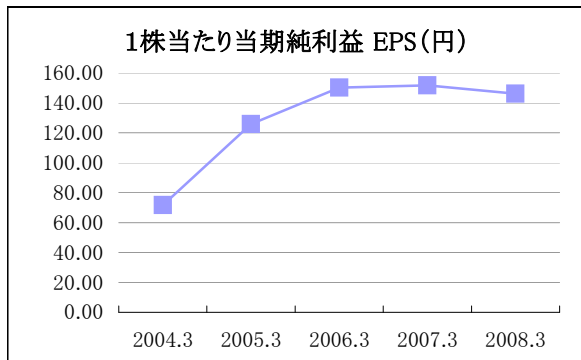
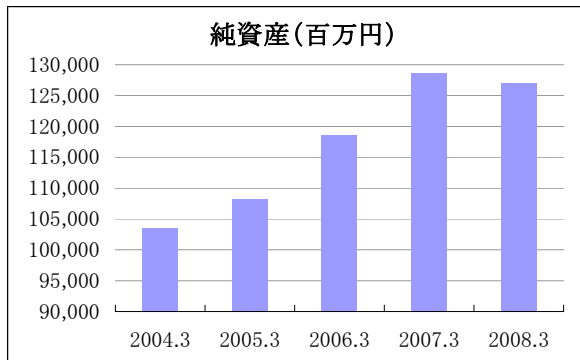
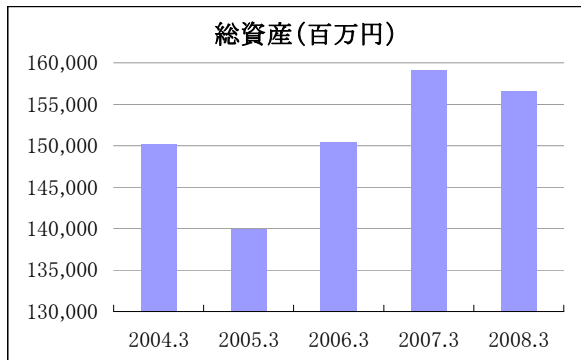
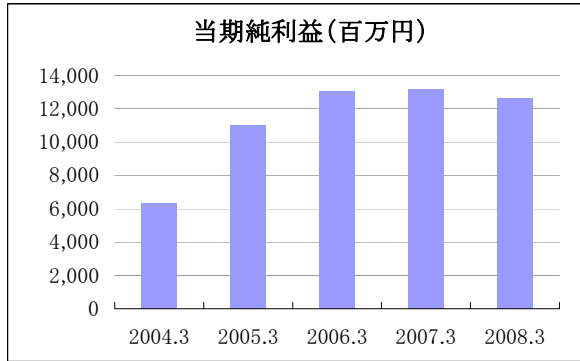
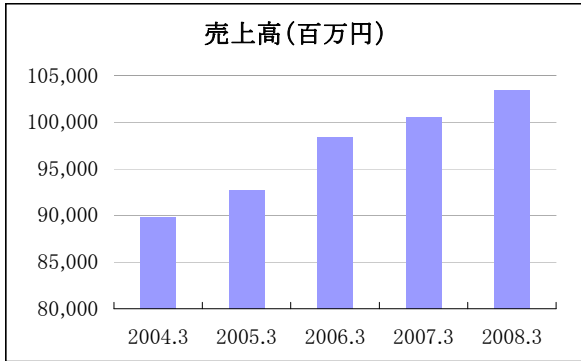
※EBITDA＝〔税金等調整前当期純利益〕＋〔支払利息〕＋〔減価償却費〕

## ■その他連結情報

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率(%)	2009.3 (予想)	対前期増減率(%)
研究開発費(百万円)	11,853	12,619	13,971	13,663	12,941	-5.3	14,000	8.2
設備投資額(百万円)	2,871	1,674	1,420	2,716	2,758	1.5	2,380	-13.7
減価償却費(百万円)	3,914	3,696	3,343	3,295	3,353	1.8	3,700	10.3
期末従業員数	2,335	2,308	2,312	2,409	2,483	—	—	—

※上記の予想等は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

■連結業績の推移(グラフ)



## 連結情報 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率 (%)
<b>売上高</b>	<b>89,857</b>	<b>92,696</b>	<b>98,397</b>	<b>100,485</b>	<b>103,394</b>	2.9
売上原価	31,857	33,709	34,534	35,483	36,513	2.9
(対売上高比率)	35.4%	36.4%	35.1%	35.3%	35.3%	
<b>売上総利益</b>	<b>58,000</b>	<b>58,986</b>	<b>63,863</b>	<b>65,001</b>	<b>66,880</b>	2.9
(対売上高比率)	64.6%	63.6%	64.9%	64.7%	64.7%	
販売費及び一般管理費	43,474	40,003	42,868	44,589	46,510	4.3
(対売上高比率)	48.4%	43.1%	43.6%	44.4%	45.0%	
うち研究開発費	11,853	12,619	13,971	13,663	12,941	-5.3
(対売上高比率)	13.2%	13.6%	14.2%	13.6%	12.5%	
<b>営業利益</b>	<b>14,525</b>	<b>18,982</b>	<b>20,995</b>	<b>20,412</b>	<b>20,370</b>	-0.2
(対売上高比率)	16.2%	20.5%	21.3%	20.3%	19.7%	
営業外収益	2,908	803	1,024	1,138	1,356	19.1
営業外費用	1,643	948	511	707	1,024	44.8
<b>経常利益</b>	<b>15,790</b>	<b>18,837</b>	<b>21,507</b>	<b>20,843</b>	<b>20,702</b>	-0.7
(対売上高比率)	17.6%	20.3%	21.9%	20.7%	20.0%	
特別利益	682	1,137	53	250	237	-5.4
特別損失	2,698	1,538	1,219	55	457	729.5
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>13,774</b>	<b>18,436</b>	<b>20,341</b>	<b>21,039</b>	<b>20,482</b>	-2.6
(対売上高比率)	15.3%	19.9%	20.7%	20.9%	19.8%	
法人税、住民税及び事業税	8,750	6,446	7,999	7,902	8,145	3.1
法人税等調整額	-1,297	966	-679	-10	-313	2,877.6
<b>当期純利益</b>	<b>6,321</b>	<b>11,022</b>	<b>13,022</b>	<b>13,147</b>	<b>12,650</b>	-3.8
(対売上高比率)	7.0%	11.9%	13.2%	13.1%	12.2%	

### 【為替換算レート】

(単位:円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3 (予想)
為替換算レート:ドル	113.29	107.19	113.42	116.86	114.29	108.00
:ユーロ	132.40	134.64	137.77	148.99	161.98	155.00

※上記の予想等は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

## ■売上高増減ポイント

(医療用医薬品)

眼科薬国内：医療施設ごとの潜在ニーズとその変化を的確に捉えた医薬情報提供などの普及促進活動により、723億1千9百万円（前期比1.5%増）となりました。

眼科薬海外：欧州では、医薬情報提供などの普及促進活動に注力したことに加え、為替の影響もあり、北欧・東欧、ロシア、ドイツを中心に売上を伸ばしました。また、米国、アジアでも売上を伸ばし、海外全体では、131億6百万円（前期比20.5%増）となりました。

抗リウマチ薬：引き続き着実に市場に浸透し、売上高は96億2千6百万円（前期比2.6%増）となりました。

(一般用医薬品)

目の疲れ・かすみ・爽快用の目薬を中心に引き続き販売促進活動に注力した結果、売上高は54億5千1百万円（前期比2.7%増）となりました。

(医療機器)

競争激化にともなう眼内レンズの売上減少により、医療機器全体の売上高は、4億1千4百万円（前期比22.8%減）となりました。

(その他)

米国向け耳科用合成抗菌剤の受託製造の減少により、22億5百万円（前期比21.0%減）となりました。

## ■主な販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率 (%)
人件費	11,313	11,109	11,195	12,197	13,220	8.4
拡販費	4,201	3,057	3,662	3,944	4,184	6.1
販売権行使料	2,279	2,113	2,058	2,203	2,211	0.4
広告宣伝費	1,948	1,616	1,623	1,807	2,671	47.8
研究開発費	11,853	12,619	13,971	13,663	12,941	-5.3

## ■主な営業外損益の内訳

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率 (%)
受取利息及び配当金	239	249	261	459	606	32.0
支払利息	365	182	93	90	96	6.7
のれん償却費	317	322	330	357	31	-91.0

## ■主な特別損益の内訳

(単位:百万円)

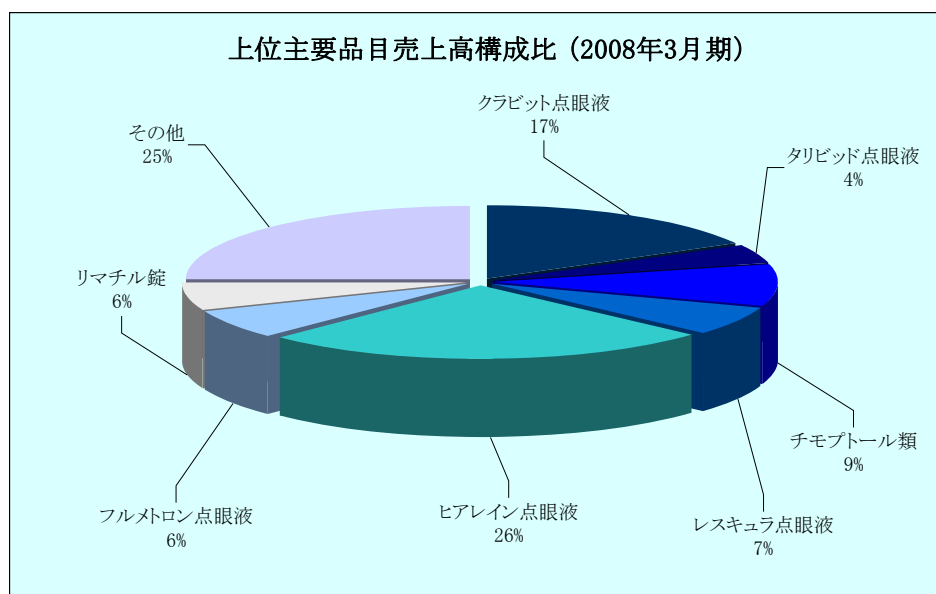
	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
固定資産処分益	5	340	3	250	0
投資有価証券売却益	675	0	0	—	237
固定資産処分損	118	102	126	36	66
減損損失	376	823	909	—	316

# 売上明細

## ■医療用医薬品主要品目別売上高

薬効分類	有効成分・剤形	品目名	主な販売地域	販売年月
合成抗菌点眼剤	レボフロキサシン点眼液	クラビット点眼液	日本	2000年4月
	オフロキサシン点眼液	タリビッド点眼液	日本	1987年9月
緑内障治療剤	チモロールマレイン酸塩点眼液	チモプトール点眼液	日本	1981年9月
	チモロールマレイン酸塩持続性点眼液	チモプトールXE点眼液	日本	1999年11月
	ブナゾシン塩酸塩点眼液	デタントール点眼液	日本	2001年9月
	イソプロピル ウノプロストン点眼液	レスキュラ点眼液 ※	日本	1994年10月
抗アレルギー点眼剤	レボカバステチン塩酸塩点眼液	リボスチン点眼液	日本	2001年1月
角膜疾患治療剤	ヒアルロン酸ナトリウム点眼液	ヒアレイン点眼液	日本	1995年6月
抗炎症点眼剤	フルオロメトロン点眼液	フルメトロン点眼液	日本	1975年10月
初期老人性白内障治療剤	ピレノキシン点眼液	カリーユニ点眼液	日本	1992年7月
眼科手術補助剤	ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤	オペガンハイ眼粘弾剤	日本	1995年1月
眼灌流・洗浄液	オキシングルタチオン眼灌流・洗浄液	ビーエスエスプラス眼灌流液	日本	1992年1月
抗リウマチ剤	ブシラミン錠	リマチル錠	日本	1987年9月
	サラゾスルファピリジジン腸溶錠	アザルフィジジンEN錠	日本	1995年12月

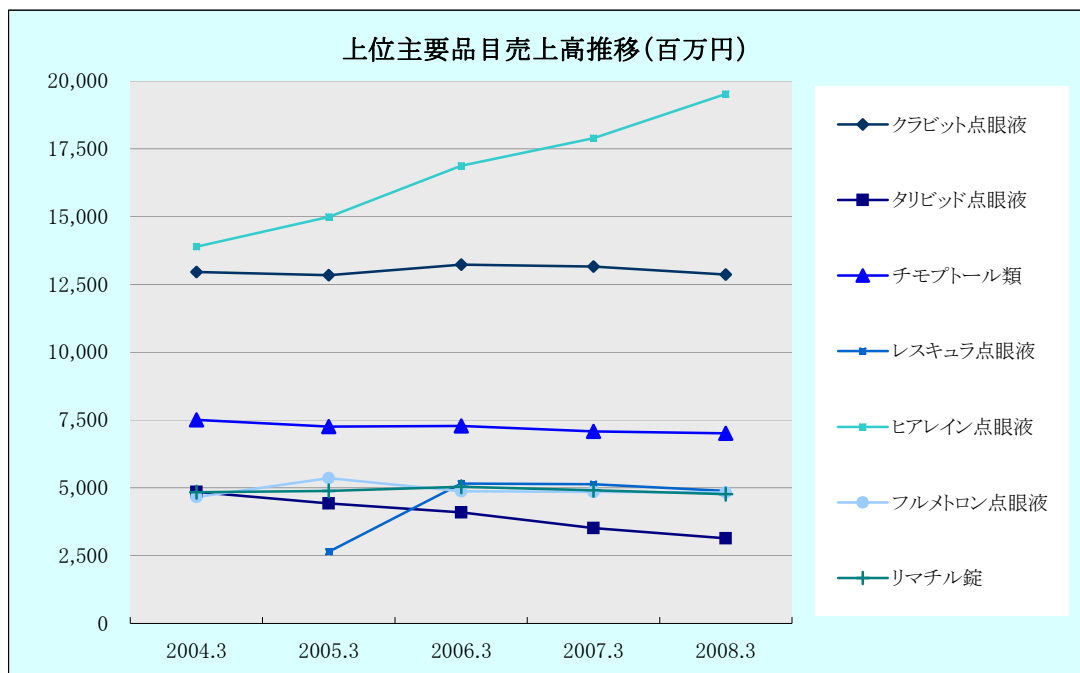
※レスキュラ点眼液:1994年10月の販売開始ですが、当社取扱いは2004年10月からとなっております。





(単位:百万円)

2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率 (%)	2009.3 (予想)	対前期増減率 (%)	品目名
12,957	12,833	13,227	13,155	12,864	-2.2	11,888	-7.6	クラビット点眼液
4,847	4,429	4,100	3,524	3,139	-10.9	2,619	-16.6	タリビッド点眼液
4,846	4,415	4,210	3,816	3,574	-6.3	3,163	-11.5	チモプトール点眼液
2,654	2,837	3,072	3,258	3,432	5.3	3,606	5.1	チモプトールXE点眼液
1,917	2,155	2,226	2,288	2,337	2.1	2,337	0.0	デタントール点眼液
—	2,645	5,152	5,127	4,880	-4.8	4,461	-8.6	レスキュラ点眼液
2,729	4,917	3,984	4,305	4,341	0.8	3,766	-13.2	リボスチン点眼液
13,893	14,987	16,879	17,891	19,521	9.1	20,536	5.2	ヒアレイン点眼液
4,658	5,354	4,879	4,854	4,821	-0.7	4,606	-4.4	フルメロン点眼液
3,295	3,220	3,341	3,465	3,652	5.4	3,707	1.5	カリユニ点眼液
2,267	2,374	2,746	2,839	3,204	12.9	3,221	0.5	オベガンハイ眼粘弾剤
1,358	1,274	1,316	1,277	1,267	-0.8	1,196	-5.6	ビーエスエスプラス眼灌流液
4,836	4,881	5,033	4,912	4,767	-3.0	4,633	-2.8	リマチル錠
3,132	3,376	3,717	3,889	4,121	6.0	4,254	3.2	アザルフィジンEN錠



※上記の予想等は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

# 売上明細

## ■販売部門別売上高合計

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率 (%)
医療用医薬品	80,061	84,298	90,251	91,849	95,322	3.8
眼科薬	71,744	75,624	80,922	82,152	85,426	4.0
抗リウマチ薬	7,969	8,353	9,041	9,379	9,626	2.6
その他	347	319	287	317	269	-15.3
一般用医薬品	4,672	5,277	5,247	5,307	5,451	2.7
医療機器	914	754	638	537	414	-22.8
その他	4,209	2,366	2,260	2,791	2,205	-21.0
合計	89,857	92,696	98,397	100,485	103,394	2.9

## 【うち国内】

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率 (%)
医療用医薬品	70,868	76,895	80,308	80,743	82,088	1.7
眼科薬	62,717	68,383	71,215	71,272	72,319	1.5
抗リウマチ薬	7,862	8,244	8,869	9,208	9,519	3.4
その他	288	267	223	263	248	-5.4
一般用医薬品	4,657	5,260	5,227	5,286	5,430	2.7
医療機器	877	726	618	515	401	-22.2
その他	1,073	562	629	605	646	6.7
合計	77,477	83,446	86,784	87,152	88,566	1.6
(国内売上高構成比)	86.2%	90.0%	88.2%	86.7%	85.7%	—

## 【うち海外】

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	対前期増減率 (%)
医療用医薬品	9,193	7,402	9,942	11,105	13,234	19.2
眼科薬	9,027	7,241	9,706	10,880	13,106	20.5
抗リウマチ薬	106	108	172	170	107	-37.1
その他	58	52	64	54	20	-63.1
一般用医薬品	14	16	20	20	20	-0.8
医療機器	37	27	19	21	13	-37.1
その他	3,135	1,803	1,631	2,185	1,559	-28.7
合計	12,380	9,250	11,613	13,333	14,827	11.2
(海外売上高構成比)	13.8%	10.0%	11.8%	13.3%	14.3%	—

# 地域別明細

## ■所在地別 明細

		2004.3		2005.3		2006.3		2007.3		2008.3	
所在地別売上高		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	日本	79,338	88.3	85,837	92.6	89,881	91.3	90,695	90.3	92,098	89.1
	欧州	8,848	9.8	6,374	6.9	8,155	8.3	9,186	9.1	10,617	10.3
	その他の地域	1,671	1.9	484	0.5	360	0.4	604	0.6	678	0.6
	合計	89,857	100.0	92,696	100.0	98,397	100.0	100,485	100.0	103,394	100.0
所在地別営業費用	日本	60,004		64,216		68,244		70,093		71,442	
	欧州	12,603		8,148		9,192		10,234		12,103	
	その他の地域	8,255		3,798		3,927		3,970		4,259	
	計	80,863		76,162		81,364		84,298		87,805	
	消去又は全社	-5,531		-2,448		-3,961		-4,225		-4,781	
連結合計	75,332		73,713		77,402		80,073		83,023		
所在地別営業利益	日本	20,351		22,169		22,623		21,768		22,633	
	欧州	-2,599		-149		951		979		554	
	その他の地域	-548		-743		-708		-754		-819	
	計	17,204		21,276		22,866		21,993		22,368	
	消去又は全社	-2,678		-2,294		-1,871		-1,580		-1,997	
連結合計	14,525		18,982		20,995		20,412		20,370		

欧 州……フィンランド、ドイツ、スウェーデン

その他の地域……アメリカ、中国、韓国、台湾

\*欧州には、米国で販売した眼科薬の売上高が含まれています。

## ■海外売上高

		2004.3		2005.3		2006.3		2007.3		2008.3	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
欧州		4,370	35.3	4,794	51.8	6,089	52.4	6,916	51.9	8,532	57.5
北米		5,813	47.0	1,703	18.4	1,915	16.5	2,128	16.0	1,951	13.2
アジア		—	—	—	—	—	—	—	—	4,326	29.2
その他の地域		2,196	17.7	2,752	29.8	3,608	31.1	4,287	32.1	16	0.1
合計		12,380	100.0	9,250	100.0	11,613	100.0	13,333	100.0	14,827	100.0

欧 州……フィンランド、ロシア、スウェーデン、ドイツ、ノルウェー

北 米……アメリカ

アジア……韓国、中国、ベトナム、台湾

その他の地域……オーストラリア他

\*過年度のその他の地域の売上高には、当期より区分表示しておりますアジア地域への売上高が含まれています。

\*海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

# 連結貸借対照表

## ■資産の部

	2004.3		2005.3		2006.3		2007.3		2008.3	
	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)
<b>流動資産</b>	<b>91,230</b>	<b>60.7</b>	<b>82,735</b>	<b>59.1</b>	<b>93,892</b>	<b>62.4</b>	<b>100,820</b>	<b>63.4</b>	<b>102,754</b>	<b>65.6</b>
現金及び預金	33,629		23,948		34,583		34,295		35,483	
受取手形及び売掛金	32,456		35,625		34,423		35,034		35,614	
有価証券	9,303		9,046		11,201		16,914		15,868	
たな卸資産	10,393		9,826		9,837		10,357		11,332	
繰延税金資産	2,255		1,625		1,651		1,625		1,699	
その他	3,448		2,681		2,196		2,593		2,757	
貸倒引当金	-256		-18		-1		-0		-1	
<b>固定資産</b>	<b>59,006</b>	<b>39.3</b>	<b>57,244</b>	<b>40.9</b>	<b>56,552</b>	<b>37.6</b>	<b>58,228</b>	<b>36.6</b>	<b>53,548</b>	<b>34.2</b>
有形固定資産	37,237	24.8	32,676	23.3	30,395	20.2	30,485	19.2	29,848	19.1
建物及び構築物	20,577		18,826		17,119		16,063		15,160	
機械装置及び運搬具	1,882		2,114		2,021		1,817		2,656	
土地	10,645		9,486		9,063		8,842		8,558	
建設仮勘定	1,750		181		274		1,806		1,879	
その他	2,382		2,067		1,916		1,955		1,594	
無形固定資産	4,000	2.7	3,318	2.4	2,951	2.0	2,771	1.7	2,233	1.4
のれん	1,333		1,021		711		385		300	
ソフトウェア	1,207		1,182		1,035		1,660		1,602	
その他	1,458		1,113		1,204		726		330	
投資その他の資産	17,769	11.8	21,250	15.2	23,205	15.4	24,971	15.7	21,466	13.7
投資有価証券	11,482		14,313		17,715		21,019		16,949	
繰延税金資産	1,814		1,051		379		—		1,822	
その他	4,476		5,885		5,109		3,951		2,694	
貸倒引当金	-3		—		—		—		—	
<b>繰延資産</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>13</b>	<b>0.0</b>	<b>50</b>	<b>0.0</b>	<b>244</b>	<b>0.2</b>
<b>資産合計</b>	<b>150,237</b>	<b>100.0</b>	<b>139,979</b>	<b>100.0</b>	<b>150,458</b>	<b>100.0</b>	<b>159,098</b>	<b>100.0</b>	<b>156,547</b>	<b>100.0</b>

※表示は当期末のものを基準としております。

## 【主な増減内容】

(2007.3と2008.3との主な増減内容を記載しております。)

- ・現金及び預金 税金等調整前当期純利益による収入、短期金融商品の満期償還金等により増加しました。
- ・有価証券 短期金融商品の満期償還等によります。
- ・投資有価証券 主に投資有価証券の評価額の減少によります。
- ・繰延税金資産 投資有価証券評価額の減少に伴い繰延税金負債が減少したことによります。

**■負債および純資産の部**

	2004.3		2005.3		2006.3		2007.3		2008.3	
	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)
<b>流動負債</b>	<b>27,153</b>	<b>18.1</b>	<b>22,221</b>	<b>15.9</b>	<b>24,110</b>	<b>16.0</b>	<b>22,369</b>	<b>14.0</b>	<b>26,561</b>	<b>17.0</b>
支払手形及び買掛金	5,039		6,122		5,630		6,089		5,633	
一年以内返済予定の長期借入金	416		268		168		168		5,168	
未払金	8,853		8,577		9,308		8,572		7,690	
未払法人税等	8,132		3,413		4,946		3,917		4,323	
賞与引当金	2,228		2,481		2,483		2,477		2,612	
その他の引当金	650		199		81		67		74	
その他	1,831		1,158		1,492		1,077		1,057	
<b>固定負債</b>	<b>19,584</b>	<b>13.0</b>	<b>9,518</b>	<b>6.8</b>	<b>7,710</b>	<b>5.1</b>	<b>8,084</b>	<b>5.1</b>	<b>2,867</b>	<b>1.8</b>
長期借入金	12,270		6,614		5,446		5,278		110	
退職給付引当金	5,331		1,455		1,243		1,405		1,815	
役員退職慰労引当金	441		402		462		513		487	
繰延税金負債	26		23		20		426		17	
その他	1,514		1,023		537		460		437	
<b>負債合計</b>	<b>46,737</b>	<b>31.1</b>	<b>31,740</b>	<b>22.7</b>	<b>31,820</b>	<b>21.1</b>	<b>30,453</b>	<b>19.1</b>	<b>29,429</b>	<b>18.8</b>
<b>株主資本</b>	<b>104,927</b>	<b>69.9</b>	<b>109,017</b>	<b>77.8</b>	<b>117,377</b>	<b>78.0</b>	<b>124,997</b>	<b>78.6</b>	<b>126,398</b>	<b>80.7</b>
資本金	6,214	4.1	6,247	4.5	6,319	4.2	6,382	4.0	6,418	4.1
資本剰余金	6,908	4.6	6,942	4.9	7,014	4.7	7,077	4.5	7,113	4.5
利益剰余金	91,844	61.2	95,901	68.5	104,133	69.2	111,645	70.2	117,786	75.2
自己株式	-40	-0.0	-74	-0.1	-90	-0.1	-106	-0.1	-4,920	-3.1
<b>評価・換算差額等</b>	<b>-1,427</b>	<b>-1.0</b>	<b>-777</b>	<b>-0.5</b>	<b>1,260</b>	<b>0.9</b>	<b>3,587</b>	<b>2.3</b>	<b>600</b>	<b>0.4</b>
その他有価証券評価差額金	1,426	0.9	2,048	1.5	3,995	2.7	5,202	3.3	2,273	1.5
繰延ヘッジ損益	—	—	—	—	—	—	3	0.0	—	—
為替換算調整勘定	-2,853	-1.9	-2,826	-2.0	-2,735	-1.8	-1,618	-1.0	-1,673	-1.1
<b>新株予約権</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>59</b>	<b>0.0</b>	<b>119</b>	<b>0.1</b>
<b>純資産合計</b>	<b>103,499</b>	<b>68.9</b>	<b>108,239</b>	<b>77.3</b>	<b>118,637</b>	<b>78.9</b>	<b>128,645</b>	<b>80.9</b>	<b>127,118</b>	<b>81.2</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>150,237</b>	<b>100.0</b>	<b>139,979</b>	<b>100.0</b>	<b>150,458</b>	<b>100.0</b>	<b>159,098</b>	<b>100.0</b>	<b>156,547</b>	<b>100.0</b>

※表示は当期末のものを基準としております。

**【主な増減内容】**

(2007.3と2008.3との主な増減内容を記載しております。)

- ・長期借入金 シンジケートローン 5,000百万円(返済期日 2008.9)を一年以内返済予定の長期借入金に振替えています。
- ・自己株式 自己株式の取得 4,800百万円の実施によります。
- ・その他有価証券評価差額金 投資有価証券の評価額の減少によります。

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>					
税金等調整前当期純利益	13,774	18,436	20,341	21,039	20,482
減価償却費	4,521	4,749	4,824	4,761	4,593
減損損失	376	823	909	—	316
退職給付引当金の増減額	43	-2,550	-212	160	411
受取利息及び受取配当金	-239	-249	-261	-459	-606
支払利息	365	182	93	90	96
売上債権の増減額	-315	-3,082	1,407	-414	-586
たな卸資産の増減額	1,342	594	-18	-356	-1,005
仕入債務の増減額	-440	1,065	-495	400	-430
その他営業活動キャッシュ・フロー	2,336	-2,178	625	-1,717	-561
小計	21,764	17,791	27,215	23,504	22,710
利息及び配当金の受取額	232	246	265	460	610
利息の支払額	-328	-183	-95	-91	-94
法人税等の支払額	-453	-11,235	-6,507	-8,914	-7,758
法人税等の還付額	1,980	—	—	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,196	6,619	20,878	14,959	15,468
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>					
定期預金等の預入による支出	-622	-1,548	-803	-1,223	-1,518
定期預金等の払戻による収入	915	2,904	1,041	553	2,160
有価証券の取得による支出	-6,399	-4,499	—	—	—
有価証券の売却による収入	10,604	4,817	504	—	1,000
固定資産の取得による支出	-3,225	-4,906	-2,106	-3,555	-3,151
固定資産の売却による収入	3,770	2,488	29	600	5
投資有価証券の取得による支出	-510	-3,229	-57	-2,208	-3,266
投資有価証券の売却による収入	1,073	1,059	20	—	2,660
その他投資活動キャッシュ・フロー	-359	7	41	-13	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,246	-2,907	-1,330	-5,845	-2,083
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>					
長期借入れによる収入	10,000	—	—	—	—
長期借入金の返済による支出	-416	-5,804	-1,268	-168	-168
転換社債の償還による支出	-19,945	—	—	—	—
自己株式の取得による支出	-3	-2,582	-15	-16	-4,815
配当金の支払額	-1,758	-4,393	-4,759	-5,632	-6,505
その他財務活動キャッシュ・フロー	—	68	143	126	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	-12,122	-12,711	-5,900	-5,691	-11,415
<b>IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>49</b>	<b>-42</b>	<b>75</b>	<b>313</b>	<b>-140</b>
<b>V. 現金及び現金同等物の増加額又は減少額</b>	<b>16,369</b>	<b>-9,042</b>	<b>13,723</b>	<b>3,736</b>	<b>1,828</b>
<b>VI. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>25,053</b>	<b>41,422</b>	<b>32,380</b>	<b>46,104</b>	<b>49,841</b>
<b>VII. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>41,422</b>	<b>32,380</b>	<b>46,104</b>	<b>49,841</b>	<b>51,669</b>

※表示は当期末のものを基準としております。

## ■設備投資額

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3 (予想)
連結	2,871	1,674	1,420	2,716	2,758	2,380

(注) 上記設備投資額には、リース契約の設備を含んでおります。

## 【主な設備投資】

- 参天製薬(中国)有限公司の工場建設
- 製造設備の更新
- 奈良研究開発センターの設備拡張

## ■減価償却費

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3 (予想)
製造経費	1,626	1,613	1,546	1,494	1,635	2,010
販売管理費	746	740	626	576	626	590
研究開発費	1,499	1,312	1,157	1,212	1,091	1,100
その他	40	30	12	12	0	0
連結合計	3,914	3,696	3,343	3,295	3,353	3,700

## ■リース料

(単位:百万円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3 (予想)
連結	784	1,012	1,104	1,064	1,042	950
うち、製造経費	656	891	994	936	925	830

## ■期末人員数

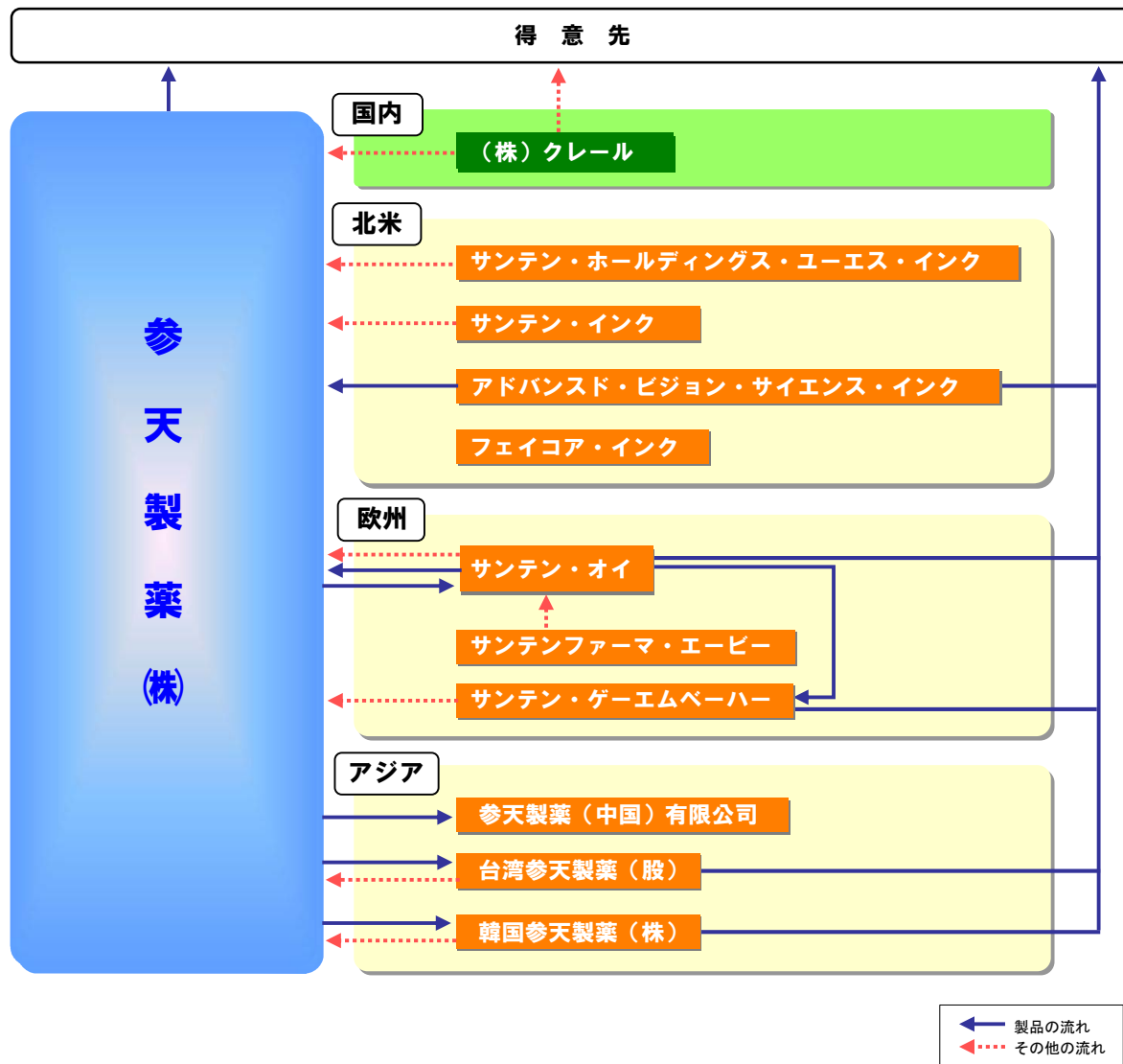
(単位:人)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
連結	2,335	2,308	2,312	2,409	2,483
うち、販売部門	771	790	785	853	907
うち、生産部門	883	827	787	754	798
うち、研究開発部門	455	460	483	533	519
うち、全社または共通部門	226	231	257	269	259

※上記の予想等は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

# 連結会社一覧

## ■グループ会社関係図



## ■連結会社一覧

### 【国内】

(株)クレール					
事業内容	無塵・無菌服のクリーニング				
所在地	滋賀県・多賀町	資本金	90百万円	出資比率	100%



**【海外】**

<b>サンテン・ホールディングス・ユーエス・インク</b>					
事業内容	北米事業の持株会社、事業開発				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	24,784千米ドル	出資比率	100%
<b>サンテン・インク</b>					
事業内容	医薬品の臨床開発				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	8,765千米ドル	出資比率	*100%
<b>アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インク</b>					
事業内容	医療機器の開発・製造・販売				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	10千米ドル	出資比率	*100%
<b>フェイコア・インク</b>					
事業内容	-				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	10千米ドル	出資比率	*100%
<b>サンテン・オイ</b>					
事業内容	医薬品の臨床開発・製造・販売・受託製造				
所在地	フィンランド・タンペレ	資本金	20,000千ユーロ	出資比率	100%
<b>サンテンファーマ・エービー</b>					
事業内容	医薬品の販売支援				
所在地	スウェーデン・ストックホルム	資本金	500千スウェーデンクローナ	出資比率	100%
<b>サンテン・ゲーエムベーハー</b>					
事業内容	医薬品の販売、事業開発				
所在地	ドイツ・ゲルマリンク	資本金	25千ユーロ	出資比率	100%
<b>参天製薬(中国)有限公司</b>					
事業内容	-				
所在地	中国・蘇州市	資本金	2,300百万円	出資比率	100%
<b>台湾参天製薬(股)</b>					
事業内容	医薬品の輸入・販売				
所在地	台湾・台北市	資本金	42,000千台湾ドル	出資比率	100%
<b>韓国参天製薬(株)</b>					
事業内容	医薬品の輸入・販売				
所在地	韓国・ソウル市	資本金	1,500,000千韓国ウォン	出資比率	100%

※出資比率欄\*は、サンテン・ホールディングス・ユーエス・インクを通じた間接出資。

# 参考情報 研究開発の状況

## ■医薬品開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	製品名	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
レボフロキサシン(0.5%)	クラビット クイクシン オフトクイクス	外眼部感染症	第一三共	日本						2000年4月
				米国						2000年11月
				欧州						2002年5月
レボフロキサシン+ブレドニゾロンA	DE-094	感染による角膜炎	第一三共	米国						

特長: ニューキノロン系抗菌薬。レボフロキサシン+ブレドニゾロンAはレボフロキサシンとステロイドの合剤。

一般名	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト	DE-085	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同	日本						2006年7月
				欧州						2008年4月
				米国						

特長: プロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤。日本ではラタノプロストとの比較試験で非劣性が確認されており、製造販売承認を申請。欧州においては、ラタノプロストとの比較試験で、主解析では非劣性を証明出来なかったものの、副解析では非劣性が確認出来たことと、別途実施したチモロールとの比較試験で非劣性を証明出来たため、2007年4月に申請。2008年4月にデンマークにて欧州最初の承認を取得。米国においては、今後事業化の検討を踏まえた上で、申請するかどうか決定する予定。

一般名	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジカフォソル・テトラナトリウム	DE-089	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	インスパイア社	日本						

特長: 角結膜上皮から涙液構成成分や水分の分泌を促す、主にドライアイに伴う角結膜上皮障害治療剤。既存薬との併用が可能。

一般名	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オルメサルタン	DE-092	緑内障・高眼圧症	第一三共	日本 欧米						パイロット試験

特長: アンジオテンシンII受容体拮抗剤。日本及び欧米でのフェーズ2において、用量依存性が確認出来なかったため、臨床試験の一時中断を決定。現在変更した製剤でのフェーズ2パイロット試験を欧州で実施中。

一般名	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
塩酸ロメリジン	DE-090	緑内障	日本オルガン	日本						

特長: 視野欠損の進行抑制作用を有する新しい緑内障治療剤。カルシウム拮抗作用に基づく経口緑内障薬としては、唯一の開発薬剤。NMDA受容体拮抗剤と異なり、全身性の副作用が軽微であり、高い安全性を有する。日本オルガン社により片頭痛薬として上市済。

一般名(米国)	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
リボグリタゾン	DE-101	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	第一三共	米国						

特長: 主にドライアイに伴う角結膜上皮障害に対する改善効果が期待出来る。現在発売および開発中の薬剤と異なる作用機序を有し、角結膜上皮細胞に直接働きかける点眼薬。第一三共が経口糖尿病治療剤として、米国で臨床試験中。

一般名	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-102	糖尿病黄斑浮腫	米オークウッド社と共同	日本		(フェーズ1/2a)				

特長: ドラッグデリバリーシステム概念を取り入れた、ステロイドマイクロスフェア製剤。研究段階では眼局所への投与で、長く安定した薬効持続性が確認できている。商業用スケールでの製造技術開発で米国オークウッド社と提携。

一般名	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-103	アレルギー性結膜炎	小野薬品工業	日本						

特長: 従来のアレルギー性結膜炎治療剤と異なる作用機序を持つ、ホスホジエステラーゼ4(PDE4)阻害剤。炎症性細胞の活性化に関与するPDE4を阻害することで、アレルギー性結膜炎に対し優れた改善効果を示すことが期待できる。

一般名	コード番号	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-104	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同	米国 日本						

特長: 宇部興産との共同研究で見出したROCK阻害活性を有する緑内障・高眼圧症治療剤で、既存の薬剤と異なる作用機序を持つ。線維柱帯細胞に直接作用し房水流出を促進すると考えられ、強力な眼圧下降作用が期待される。

※上記の予想等は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

## 参考情報

# 研究開発の状況

### ■医薬品開発状況一覧表(臨床準備中 一部抜粋)

一般名	製品名	効能・効果	自社/導入等
ブシラミン	リマチル	変形性関節症	自社

特長: OAによる関節炎症への効果を確認。

### ■他社への開発導出品 状況一覧

一般名/コード番号	効能・効果	導出先	開発ステージ	導入元
未定/DE-098(抗APO-1抗体)	関節リウマチ	Argenes社	フェーズ1/2a	セントコア社

特長: RA患者の罹病関節内でアポトーシスを誘導する関節注入剤。実生産規模での原薬製造法工程を確立。当社がセントコア社から導入した、抗APO-1抗体の国内開発権をArgenes社に許諾。日本および欧州にて治験実施中。国内販売権および海外開発販売権は当社が保有。

### ■2007年度中間期(2007年11月2日)からの変更点

#### 【進階】

コード番号	効能・効果	開発ステージ	該当臨床試験実施地域
DE-103	アレルギー性結膜炎	フェーズ1 → フェーズ2	日本
DE-104	緑内障・高眼圧症	フェーズ1 → フェーズ2	米国→米国、日本

#### 【開発中止】

コード番号	効能・効果	実施地域	中止前開発ステージ
DE-099	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	日本	フェーズ2

理由: フェーズ2の結果、次相では一群数百例規模の臨床試験が必要と判断された。費用対効果の面から開発中止を決定。

※上記の予想等は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

# 国内医薬品市場の状況

## ■薬価改定率

(単位:%)

	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
全体	-6.8	-4.4	-9.7	-	-7.0	-	-6.3	-	-4.2	-	-6.7	-	-5%台前半
眼科薬	-3.5	-1.8	-7.5	-	-6.2	-	-6.0	-	-2.7	-	-5.5	-	-3%台後半
参天製薬	-2.6	-1.3	-7.2	-	-5.7	-	-6.0	-	-3.2	-	-5.3	-	-3%台半ば

(自社集計)

薬価改定率: 薬剤の市場価格を薬価に反映させるために原則2年に一度薬価改定が行われており、市場実勢価格が低い薬剤ほど新薬価が低く算定され、薬価改定率が高くなる。

## ■主な医療保険制度改革

### 1997年

医療保険改正法施行

被用者保険本人(サラリーマン本人)の定率負担の増額(1割→2割)

老人保険法改正

一部負担金 外来:1日500円(月4回まで)、入院:1日1,000円

### 2001年

老人保険法改正

(一部負担金 外来:定率1割負担、入院:定率1割負担)

### 2002年4月

診療報酬△2.7%

調剤報酬改定(後発品を処方すると保険点数プラス2点が上乘せ)

### 2002年10月

高齢者医療負担増(定額制の撤廃。定率1割負担に一本化)

### 2003年4月

被用者保険本人(サラリーマン本人)の定率負担の増額(2割→3割)

### 2006年4月

後発医薬品使用促進の環境整備を図る観点から処方せんの様式を変更

### 2006年10月

一定以上所得を有する高齢者(70歳以上)の患者負担の増額(2割→3割)

### 2008年4月

後発医薬品使用の促進策として処方せん様式の再変更(後発品への変更には差支えがある場合のみ処方医の署名・捺印要)

調剤報酬改定(調剤基本料を42点から40点に引下げ、一方で後発品調剤率30%以上の体制には4点を加算など)

診療報酬改定(点眼、洗眼、片眼帯など簡単な処置料を基本診療料に包括化など)

75歳以上の方の医療保険を後期高齢者医療制度(長寿医療制度)に一本化

### ■マーケットシェア

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
医療用眼科薬	39.0% 1,947億円	39.6% 2,077億円	40.9% 2,131億円	39.7% 2,144億円	38.9% 2,210億円
抗リウマチ薬	42.5% 222億円	42.9% 233億円	45.2% 238億円	46.3% 232億円	46.1% 241億円

(注) 薬価ベース。

下段の数値は、市場規模額です。

抗リウマチ薬は、免疫抑制剤、生物学的製剤を除く。

Copyright IMS Japan KK, 2008

出典:IMSデータ(JPM)に基づく参天製薬分析

期間:2003.4-2008.3 無断複製禁止

### ■医療用眼科薬～薬効別マーケットシェア

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
抗緑内障薬	16.7% 717億円	20.0% 749億円	23.2% 790億円	22.1% 799億円	20.8% 831億円
抗感染症薬	81.0% 269億円	80.3% 265億円	78.3% 267億円	76.1% 259億円	73.5% 256億円
抗アレルギー薬	20.7% 208億円	22.4% 284億円	24.8% 246億円	24.3% 247億円	22.7% 254億円
手術用剤	39.1% 145億円	41.0% 136億円	42.6% 144億円	42.8% 141億円	43.0% 151億円
角膜疾患治療剤	82.4% 210億円	81.0% 230億円	80.7% 255億円	79.3% 264億円	78.7% 288億円
抗白内障薬	55.4% 71億円	57.4% 68億円	60.3% 65億円	62.6% 63億円	66.2% 61億円
コルチコステロイド剤	51.6% 109億円	52.8% 115億円	52.6% 112億円	51.4% 108億円	51.3% 106億円

(注) 薬価ベース。

下段の数値は、市場規模額です。

Copyright IMS Japan KK, 2008

出典:IMSデータ(JPM)に基づく参天製薬分析

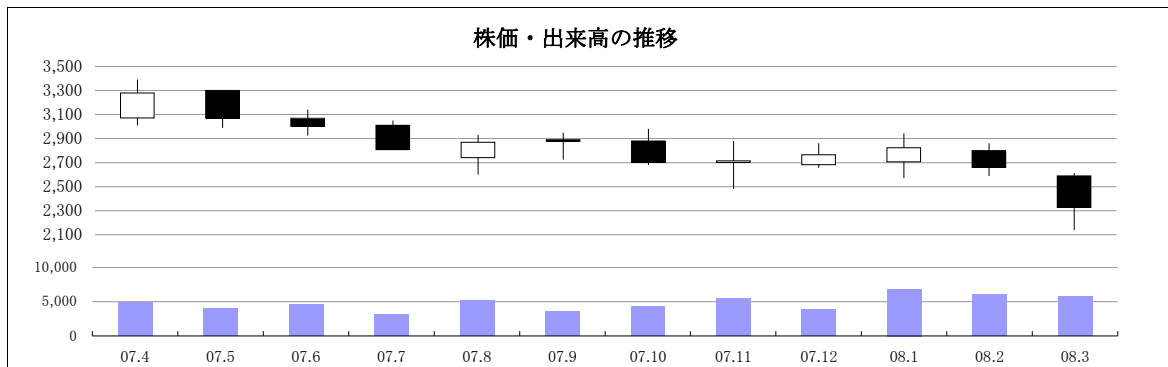
期間:2003.4-2008.3 無断複製禁止

# 株式情報

## ■ 株価情報(大阪証券取引所1部)

(株価:円・出来高:千株)

	07.4	07.5	07.6	07.7	07.8	07.9	07.10	07.11	07.12	08.1	08.2	08.3
始値	3,070	3,300	3,070	3,010	2,740	2,890	2,880	2,700	2,680	2,705	2,800	2,590
高値	3,390	3,300	3,140	3,050	2,930	2,950	2,980	2,880	2,860	2,945	2,860	2,615
安値	3,010	2,990	2,925	2,805	2,600	2,725	2,680	2,480	2,655	2,570	2,590	2,140
終値	3,280	3,070	3,000	2,805	2,870	2,875	2,700	2,715	2,765	2,825	2,660	2,325
出来高	4,855	4,081	4,567	3,135	5,161	3,621	4,339	5,471	3,827	6,859	6,027	5,805



## ■ 大株主の状況(上位10名)

2008. 3. 31現在

株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,027	8.1
三田産業株式会社	4,756	5.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,420	5.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,241	4.9
ノーザントラストカンパニーエイブイブイフシーサブアカウントアメリカクライアント	3,972	4.6
日本生命保険相互会社	3,151	3.6
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,002	3.5
サシルチェスターインターナショナルインベスターズインターナショナルハリュー エクイティートラスト	2,736	3.1
東京海上日動火災保険株式会社	2,668	3.1
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,907	2.2

## ■ ストックオプションの状況

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
ストックオプション残高(千株)	472.6	504.3	541	569.6	627.5
1998.6 106千株(行使価額 1,540円)	62	35	27	24	24
1999.6 66千株(行使価額 2,480円)	66	66	57.3	48	37
2000.6 60千株(行使価額 2,705円)	60	60	58	48.2	46.2
2001.6 55千株(行使価額 2,299円)	55	55	42.6	38.6	38.6
2002.6 92千株(行使価額 1,326円)	92	72.5	53.7	32.1	30.9
2003.6 137.6千株(行使価額 1,176円)	137.6	137.6	95	72.9	55.2
2004.6 78.2千株(行使価額 1,743円)	—	78.2	78.2	73.9	66.1
2005.6 129.2千株(行使価額 2,480円)	—	—	129.2	129.2	127.5
2006.6 102.7千株(行使価額 2,715円)	—	—	—	102.7	102.7
2007.6 99.3千株(行使価額 3,050円)	—	—	—	—	99.3

## ■ 自己株式取得の状況

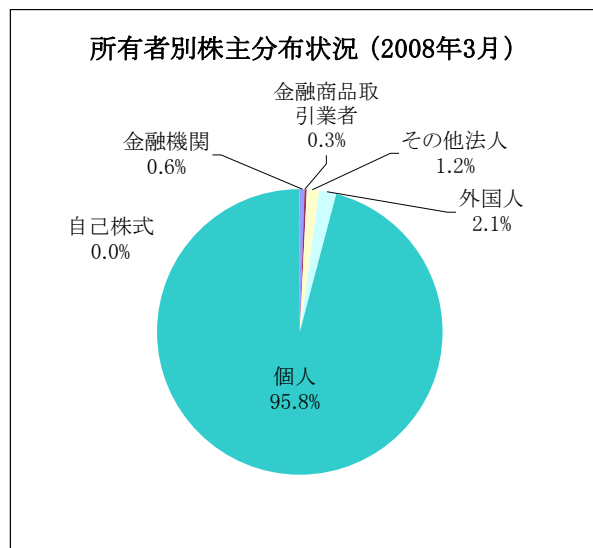
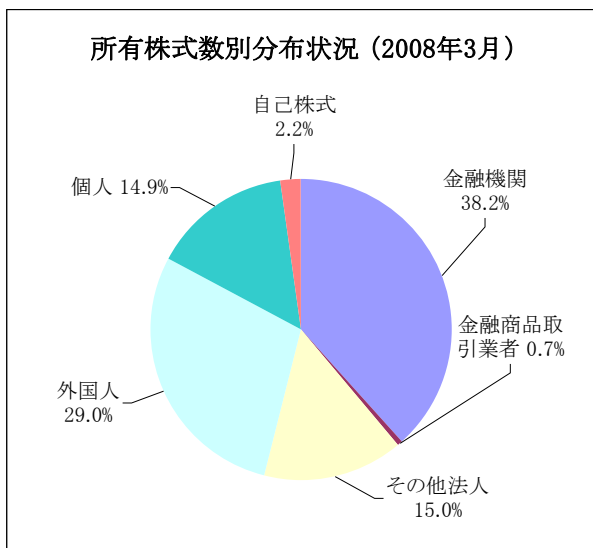
	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
自己株式取得金額(百万円)	—	2,569	—	—	4,800
自己株式取得株数(千株)	—	1,351	—	—	1,833

■所有株式数別分布状況

	2004.3		2005.3		2006.3		2007.3		2008.3	
	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %
金融機関	30,740	34.9	28,423	32.8	29,514	34.0	30,366	35.0	33,186	38.2
銀行	5,428	6.2	4,636	5.3	4,659	5.4	4,628	5.3	4,907	5.6
信託銀行 (うち信託業務分)	16,201	18.4	15,768	18.2	16,577	19.1	17,049	19.6	19,133	22.0
生・損保	9,007	10.2	7,973	9.2	8,004	9.2	8,470	9.8	8,924	10.3
その他の金融機関	103	0.1	45	0.1	274	0.3	217	0.3	221	0.3
金融商品取引業者	368	0.4	346	0.4	865	1.0	1,486	1.7	585	0.7
その他法人	10,512	12.0	11,788	13.6	11,823	13.6	12,375	14.2	13,014	15.0
外国人	31,306	35.6	32,874	38.0	31,519	36.3	31,024	35.7	25,227	29.0
個人	15,001	17.1	13,187	15.2	12,985	15.0	11,521	13.3	12,963	14.9
自己株式	33	0.0	39	0.0	45	0.1	50	0.1	1,888	2.2
合計	87,963	100.0	86,658	100.0	86,751	100.0	86,825	100.0	86,866	100.0

■所有者別株主分布状況

	2004.3		2005.3		2006.3		2007.3		2008.3	
	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %
金融機関	83	1.0	91	1.1	107	0.8	88	0.9	88	0.6
銀行	7	0.1	9	0.1	10	0.1	7	0.1	14	0.1
信託銀行	46	0.6	47	0.6	52	0.4	44	0.4	30	0.2
生・損保	27	0.3	31	0.4	32	0.2	26	0.3	29	0.2
その他の金融機関	3	0.0	4	0.0	13	0.1	11	0.1	15	0.1
金融商品取引業者	28	0.4	28	0.3	31	0.2	37	0.4	38	0.3
その他法人	130	1.7	128	1.5	236	1.7	133	1.3	150	1.2
外国人	122	1.5	172	2.0	255	1.9	306	3.0	268	2.1
個人	7,498	95.4	8,089	95.1	12,927	95.4	9,451	94.4	12,568	95.8
自己株式	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0
合計	7,862	100.0	8,509	100.0	13,557	100.0	10,016	100.0	13,113	100.0



# ニュースリリース

---

## 当期のニュースリリース抜粋（2007年4月～2008年3月）

詳しくは、当社ウェブサイト(<http://www.santen.co.jp/>)をご覧ください。

（発表日） （内容）

### 2007年

#### 4月2日 瀋陽事務所開設のお知らせ

2007年4月1日付で中国に瀋陽事務所を開設しました。この度瀋陽事務所開設により、瀋陽を中心とした東北地区において、眼科医への正確でタイムリーな学術製品情報の提供および臨床現場の薬剤ニーズの収集ができる体制となります。

#### 4月3日 欧州での緑内障・高眼圧症治療剤DE-085(タフルプロスト)承認申請について

欧州子会社サンテン・オイ(フィンランド・タンペレ)は、4月2日(現地時間)、欧州主要国(13カ国)に対し、緑内障・高眼圧症治療剤DE-085(一般名:タフルプロスト)の承認申請を行いました。DE-085は、原薬の製造を旭硝子株式会社が行い、当社が製剤化し、開発を行ったプロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤です。

#### 4月9日 「サンテうるおいコンタクトa」新発売のご案内

2007年4月19日、年々増加しているコンタクトレンズ装用者のニーズに応えるために、人工涙液型目薬「サンテうるおいコンタクトa」を発売しました。「サンテうるおいコンタクトa」はコンタクトレンズにうるおいを与え、装用中の目の不快感や乾きを改善します。

#### 5月8日 株式の大規模な買付行為に関する対応策(買収防衛策)の導入について

2007年5月8日開催の取締役会において、当社株式の大量取得行為に関する対応策の具体的な内容を決定し、2007年6月26日開催の第95期定時株主総会において承認されました。

#### 5月10日 取締役に対するストックオプション(新株予約権)に関するお知らせ 執行役員に対するストックオプション(新株予約権)に関するお知らせ

2007年5月8日開催の取締役会において、当社取締役および当社執行役員に対し、ストックオプションとして新株予約権を無償で発行することなどを決議し、2007年6月26日開催の第95期定時株主総会において承認されました。

#### 5月22日 奈良研究開発センター第3期設備投資について

2007年5月22日開催の取締役会において、奈良研究開発センターの設備拡張投資を行うことを決定いたしました。今回の第3期設備拡張工事では製剤開発棟ならびに新付属棟を建設し、非臨床機能の集約と今後の研究員増加に対応し、新薬創出の機会を高めることを目指します。



(発表日) (内容)

## 2007年

### 10月2日 「サンテドゥプラスEアルファ」リニューアル発売のご案内

2007年10月10日、一般用点眼薬「サンテドゥプラスEアルファ」のパッケージデザインをリニューアル発売しました。「サンテドゥプラスEアルファ」は、目のピント調節機能を改善するとともに血行促進や栄養補給により、目の疲れやかすみを緩和します。また、目のかゆみや炎症にも効果的です。

### 11月2日 緑内障・高眼圧症治療剤「レスキュラ®点眼液0.12%」に関する販売提携の契約更改のお知らせ

株式会社アールテック・ウエノが製造販売承認を持つ緑内障・高眼圧症治療剤「レスキュラ®点眼液0.12%」(一般名:イソプロピル ウノプロストン)の国内販売提携における契約更改に関して、既存契約が2008年9月末をもって満了することから、契約更改について基本合意に至りました。この契約により、2008年10月以降も同剤の国内における独占的販売権を保持し、販売を継続いたします。

## 2008年

### 1月11日 栄養補助食品「サンテルタックス」シリーズ新発売のご案内

2008年1月15日、栄養補助食品「サンテルタックス20」と「サンテルタックス15+ビタミン&ミネラル」の2製品を発売しました。「サンテルタックス」シリーズは、主に医師が患者さんに食事指導する際に活用いただくことを目的に、日本人の食生活を研究して開発した栄養補助食品です。

### 1月30日 自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ

2008年1月30日開催の取締役会において、株式総数185万株、取引価格総額50億円を上限として自己株式を取得することを決議しました。

### 2月25日 春季カタル治療剤「パピロック®ミニ点眼液0.1%」の承認条件解除のお知らせ

2008年2月22日開催の厚生労働省薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会を受け、春季カタル治療剤「パピロック®ミニ点眼液0.1%」(一般名:シクロスポリン)の承認条件が解除されました。

### 3月26日 自己株式の市場買付及び取得終了に関するお知らせ

2008年1月30日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得は、株式総数 1,833,800株、取得価格総額4,800,509,500円の市場買付をもって終了いたしました。

**Santen** 参天製薬株式会社